# 第38号 地域医療連携室だより

発行：2013/9/25

## 三河のつぶやき

地域医療連携室
室長　三河 貴裕

10月15日は年一回の地域連携交流会が開かれます。今年は南房総地域の現状を知って頂くために、4人の先生方にご講演を依頼させていただきました。現状を知った上で、私たちが今後何をすべきか、考える場になればと思っております。懇親会にもぜひご出席いただき、いろいろな方と交流をはかって頂ければと思います。
多職種で揃ってご参加いただきますようお願いいたします。

＊暑さも和らぎ、過ごしやすくなってまいりました。秋を満喫いたしましょう！

## ☆ マイブーム ☆ フレッシュジュース作り

毎朝、一杯のフルーツ野菜ジュースを飲んでいます。その日の気分で好きな果物＋葉物野菜＋ミルク＋時にはヨーグルト。これを飲むと毎日、快調！！葉物野菜がない時には、青汁粉末を加え健康にも気を使っていますが、最近では種子の効用にも興味を持ち、今まで捨てていたスイカの種やメロンの種なども一緒に粉砕して作っています。

食べられる種と食べない方がよい種？世間で俗に言われている事が本当なのか嘘なのか？あるいは、誰も知っていないだけで食べると実は美味しい！あるいは栄養豊富な物があるのか？

ちなみに昔からよく言われているスイカの種を食べると盲腸になる！！とか、お腹の中で芽が出るとか！実際にはスイカの種にはﾘｰﾙ酸や蛋白質、ビタミンEやビタミンBが豊富に含まれていて栄養たっぷりで、もともと食用だそうです。（ びっくり ）

時には、組み合わせに失敗して、家族に首を傾げられる事もありますが、美味しい組み合わせに出会えた時には、とっても満足感あり嬉しいです。これからも、美味しい組み合わせ探します。

セロリ

## TOPICS 開催予定の勉強会のご案内

1．放射線治療講演会
「がん治療における放射線のパラダイムシフト」
日程：11月26日（火）18：00～19：30

2．第3回マインドフルネス勉強会
「生まれたことの意味ー周産期から老年期までー」
日程：12／8（日）9：00～16：00

3．栄養管理講演会
「がん悪液質・サルコペニアと
リハビリテーション栄養管理」
日程：12／17（火）18：00～19：30

＊詳細はプログラムを参照ください。

## 第4回 地域医療連携交流会のご案内

平成25年10月15日（火）18：30～21：00
＊開場：18：00～
会　場：亀田総合病院Kタワー13Fホライゾンホール
懇親会費：2,000円
テーマ：「地域で抱える現状と今後の展望」
演　者
1）赤門整形外科内科　院長　宮川準先生
2）中原病院　副院長　関口千春先生
3）塩田病院　脳神経外科部長　飯田昌孝先生
4）永津さいとう医院　院長　木元博史先生
特別講演：亀田総合病院　院長　亀田信介
対象：法人職員及び地域医療連携機関
職種問わずご参加ください。

＊詳細はプログラムを参照ください。

## 亀田医療大学学生によるボランティア活動」

写真「厳島神社でのボランティア活動」
亀田医療大学管理部総務課
広報担当　小原　美乃里

亀田医療大学管理部総務課広報担当の小原です。亀田医療大学は本年度2年目を迎え、2期生の入学により更に活気づきました。現在163名の学生が元気よく伸び伸びと学んでいます。本学の学生たちは、地域のボランティア活動へ参加しています。今年5月4日と5日、厳島神社本開帳の際には、ボランティア活動を通して地域の方々と交流し、厳島神社の境内で履物袋の配布と回収や、イベント会場の裏側をお手伝いさせて頂きました。
ちょっとした休憩時間などに地元の方たちと歓談し、学生たちも楽しめたようです。足がパンパンになるまで働いて、帰る際に「ボランティアに参加して良かった！」と話す学生の笑顔を見たとき、私自身も学生たちとの時間を共有できたことで「大学職員で良かった！」と感じました。

他にも、「特別支援フレッシュサポート」ボランティアへの参加や、ボランティア以外でも、「シーフェスタ」・「元気かも夏」・「太陽会大納涼祭」などのイベントに参加しています。今後も、地域の方たちと交流できる場に参加する本学の学生を、皆さまから温かい目で見守って頂けたら嬉しく思います。

## 「救急病棟における退院支援と病床管理」　救命救急病棟・救急集中治療室師長　関川 志保

第三次救命救急医療を行っている急性期病院の病床調整は困難を極める場合が多くみられ、特に冬季には患者数も増加し救急受け入れが困難な状況になることも少なくありません。救急病棟では入院受け入れ調整に視点が置かれますが、救急病棟であっても入院時より退院支援を行っていくことは必要なことであり、これは救急病棟のみならず病院全体の病床コントロールに影響を及ぼすこととなります。救急入院される方の中には、他施設からの入院や高齢化によって介護支援を受けられている方が多く、退院支援について多職種連携が必要とされます。そのため救急病棟においては、週1回の救急科リハビリカンファレンスだけでなく、2012年4月からは全入院患者を対象に、週3回MSWと看護師とのカンファレンスを開催し、経済状況への不安・転帰先の確認・治療経過・ADL状況・介護者の問題などについて直接的に情報交換を行っています。その結果、看護師も患者さまやご家族より、退院を視野に入れた情報収集をするなど意識の変化もみられるようになっています。さらに看護師―MSW間のコミュニケーションがスムーズになり、カンファレンス日以外でもリアルタイムに情報共有ができるようになりました。また、他施設や他院より入院された患者さまに対しても、治療後スムーズに転院ができるように医師同士だけでなくMSWへの情報提供により、転帰先のMSWや担当ケアマネージャーなどと早期から連絡調整を行っている状況です。今後とも、それぞれの病院・施設の機能や役割に応じた患者さまの受け入れができるようにお互いに協力していきたいと思っております。

亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室　発行責任者：亀田 信介　編集責任者：唐鎌 房子　TEL： 04-7099-1261（内線7156）